

科目No.	関連講座JK131b	科目名	防疫薬総合管理				副題	身近な生活・環境害虫防除ー世界をリードする防疫薬と害虫防除技術ー			
連携機関名	日本環境動物昆虫学会	水準	中級	教室定員	30	配信定員	0	講義日時	月曜日18:15~20:15	拠点 (開講機関)	大阪・千里山(日本リスクマネージャネットワーク・関西大学化学生命工学部)後援:日本家庭用殺虫剤工業会
科目概要	熱帯地域には多くの感染症が流行し、これらが大きな経済的損失をもたらしてさらなる貧困を生み出している。その最大の原因はマラリアであり、その他にデング熱、日本脳炎、黄熱病などがあり、いずれも蚊が媒介する感染症である。世界のマラリアの感染者数は年間約2億3千万人、死者数は子供を中心に約41万人と推計されている。主なマラリア対策として、殺虫剤を家屋内に残留処理することやピレスロイド殺虫剤を含有させた蚊帳などの使用により、ベクターである蚊の防除が行われている。また、近年の人々の移動のグローバル化により、特定の地域の熱帯病であったものが、我が国での2014年のデング熱の感染例のように、容易に他地域に伝播する事態も増えている。一方、風土病、熱帯病が減少した先進地域では、人々の快適な生活を維持するために、不快害虫などの防除が不可欠になっている。これらの防除には、ピレスロイドなどの安全性が高い殺虫剤が使用されており、これら薬剤の開発では日本が常に世界をリードしてきた。本講座では、防疫薬・家庭用殺虫剤を用いた害虫防除について、各分野の専門家が、防除の歴史、社会的役割、薬剤の開発、使用技術の改良、安全性の確保および新たな技術などについて解説する。										

科目構成	No.	講義	講義概要	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
害虫防除の歴史	1	害虫防除の歴史とその役割	害虫防除法の歴史、背景とその役割について紹介する。また、天然殺虫成分をリードとした殺虫剤であるピレスロイドなどについて、発明の経緯および効力の特徴の観点から説明する。	2021/9/13	関西大学) 千里山キャンパス・第4学舎3号館・3202教室	森 達哉(顧問:安部八洲男)	森 達哉	住友化学健康農業関連事業研究所
害虫の生態と防除	2	衛生、不快害虫、その他の生態とその防除策	感染症を媒介する衛生害虫、気持ち悪い、臭い、刺されると痛いなどの不快害虫、衣服を食害する衣料害虫など(節足動物や軟体動物も含め)の分類・生態・被害状況とその対策について紹介する。	2021/9/27			平野雅親	(元)住友化学
家庭用殺虫剤	3	家庭用殺虫剤の製剤の特徴と使い方	近年、WHOは感染症媒介害虫の防除にPrimary Health Care (PHC) の重要性を再認識し、推進している。このPHCの中心にある家庭用殺虫剤について、製剤・製品の変遷、並びにそれらの特徴と正しい使い方について概説する。	2021/10/4			宮下智行	日本家庭用殺虫剤工業会
害虫の生態と防除	4	害虫の習性を利用した駆除	食品衛生害虫の代表として、飲食店の厨房や一般家庭の台所に出没するゴキブリが挙げられる。また、家屋害虫の代表として、家屋・建造物などの木質部を食害するシロアリが挙げられる。これらの害虫を中心として、害虫の生態、習性を利用した防除法の考え方や実例を紹介する。	2021/10/18			田中 豊一	ダスキン
家庭用殺虫剤	5	家庭用殺虫剤の開発とその背景	過去に上市された製品について、①時代背景②開発の経緯③開発の課題について、幾つかの事例を基に概要を解説し、家庭用殺虫剤の変遷を紹介する。	2021/10/25			引土知幸	大日本除虫菊中央研究所
ベクター防除技術	6	世界をリードするオリセトネット(防虫蚊帳)	世界三大感染症の一つであるマラリアへの対策として、オリセトネットをはじめとする殺虫剤を含有した長期残効性防虫蚊帳がマラリア流行地帯に配布され、大きな効果を上げている。オリセトネット開発の経緯、マラリアコントロールの現状、および今後の展望等について解説する	2021/11/1			大橋和典	住友化学健康農業関連事業研究所
製剤とその利用技術	7	家庭・防疫用殺虫剤新規製剤の特徴と使用方法	家庭・防疫薬分野においては、新しい特徴を有する有効成分の発見に伴い、その効能を最大限に発揮するために、今まで各種製剤が提案されてきている。主として殺虫剤における製剤化の意義と、新しい家庭・防疫用殺虫剤製剤に関する基本技術について解説する。	2021/11/8			馬場庸介	住化エンバイロメンタルサイエンス 研究開発本部
木材害虫	8	木材害虫防除	主として木造建造物の主要害虫であるシロアリや、近年被害が増加しているヒラタキクイムシ類について、その生態や被害等状況を紹介する。更に、その防除方法についても解説する。	2021/11/15			馬場庸介	住化エンバイロメンタルサイエンス 研究開発本部
害虫防除の実際	9	薬剤による害虫防除の課題とPCOの取り組み	防疫用殺虫剤の歴史と法律による現場防除の課題。また、実際の現場環境の違いによるPCOの駆除業務。防疫用殺虫剤の特長を生かした、各害虫への防除機材の選択。	2021/11/29			五十嵐真人	鵬図商事
安全性	10	防疫薬の登録と安全性	日本(薬事法、化審法、毒劇法など)をはじめ、米国EPA(FIFRA)やEU(EUBPD)、その他世界各国の防疫薬登録制度について解説する。また、防疫薬を使用する消費者の安全性を担保するために必要なデータと意義、消費者リスクの評価法についても解説する。	2021/12/6			内藤義一	住友化学生活環境事業部
総合防除	11	防疫薬の今後の方向	人々の生活の都市化や、住宅構造、生活様式などの外部環境の変化や、化学物質の安全性に対する人々の意識の増加などから、防疫薬に対するニーズも変化し、それに対応して防疫薬も変革が必要とされる。ここでは、防疫薬が抱えている今日的課題点と今後の方向について考え、総合防除(IPM)の考え方について述べる。	2021/12/13			安部八洲男	(元)大阪青山大学